

農の架け橋 地域と共に

— 白子町農業委員会だより NO. 33 —



令和2年8月
編集・発行/
白子町農業委員会

『町の頑張る農業担い手集団』を皆さんに紹介します。

女性の力で、明るい豊かな未来に…

長生農業協同組合女性部 白子支部

「私たちは“白子の宝塚！”清く、正しく、美しく華麗に。そして、誰もが笑顔で楽しくなるように…。」現在、支部長を務める 石和田 きよ子 さんは、照れ笑いながらそう話してくれました。

長生農業協同組合女性部 白子支部は、農村婦人の地位の向上と明るい豊かな農村を築いていくことを目的として、昭和50年、白子町農協 婦人部として設立されました。その後、昭和52年に農協の合併に伴い長生農協婦人部 白子支部となり、平成8年に婦人部から女性部へと名称変更されました。現在の支部会員数は54名。皆、和気あいあいの中で活動しています。

地域の発展及び活性化に寄与することとして「白子チューリップ祭り」、「白子たまねぎ祭り」、「ふるさとしらこ祭」のイベントに参加するとともに、米消費拡大推進及び郷土料理伝承のため「太巻き寿司教室」、「米粉料理教室」を企画・実践。また、独居老人への給食サービスのボランティア活動も続けています。

また、最近は、“安心・安全な食” “健康” に注目し新しい取り組みも始め、昨年は、「酌的生活」料理講習会を開催しました。

「私は、家から見る田んぼの景色が大好きです。緑色の絨毯が黄金色に染まっていく様を見ていると心が癒されます。若緑色の小さな苗が季節の流れとともに成長し、黄金色の米を実らせ人々を喜ばせてくれている。女性部も一人ひとり小さいけれど、女性みんなで力を合わせ活動していくことで、明るい豊かな未来に貢献していきたい。」と、石和田さんは続けて話してくれました。

～ 私らしく生きてゆこう。明日 輝くために 明日 輝くために… 『明日輝くために』(JA女性の歌より)～



「気分は女性国会議員！」【国会議事堂 視察研修】



【米粉料理 ケークサレ、焼売、せんべい】 【健全な食と農を次代に引き継ぐ大切さ】

【郷土料理伝承 太巻き寿司】

刈払機の正しい使い方を学びましょう

刈払機は、農機具専門店だけでなくホームセンター等でも販売されており、誰でも簡単に購入することができ手軽に使える便利な機械です。しかし、鋭利な刈刃が高速回転するため、慎重に取り扱わないと指や脚などの切断や骨折などといった重篤な怪我につながる危険性があります。草刈りを使う際は次の点に気を付けましょう。

○ 作業に適した作業服・保護具を使用し、作業前に各部の点検をしてください

- ▶ 刈り取り作業に適した長袖の作業服と保護メガネ、フェイスシールド、イヤーマフや耳栓、防振手袋、滑りにくい作業靴、すね当てなどの保護具を着用し、万が一のために保護具で守りましょう。
- ▶ 作業前に各部品がきちんと取り付けられているか確認してください。特に刈刃に緩みがあると外れて飛んでしまう場合があります大変危険です。刈刃は正しく取り付け、締め付けられているか確認してください。また、飛散防護カバーは異物が飛ぶのを防ぎます。所定の位置にしっかり組み付けてください。
- ▶ 刈払機を自然に持った時、刈刃が地面から数センチの高さになるよう、バンドの長さやハンドルの位置を調節してください。適正な長さに調節した肩掛けバンドを装着すると、転倒した場合に刈刃が身体に触れにくくなります。



○ エンジンは周囲を確認して、刈刃を地面から浮かせて始動してください

- ▶ エンジンを始動する時は、メインパイプの上に角材やスタンドを当て、刈刃が地面に触れていない(飛び跳ね防止)ようにしたうえで、周りに人がいないことを確認してから始動してください。

○ キックバック現象に注意、刈刃への巻き付きは必ずエンジンを停止

- ▶ 刈刃は反時計回りに回転します。刈刃の先端部と右側90度の範囲で切り株などの障害物へ接触すると、刈刃の回転方向の反対側へ跳ね返る“キックバック”が起こり大変危険です。刃の左側の前3分の1の位置で刈りましょう。(障害物の多い場所ではナイロンコードを使用する。) 刈刃を高く持ち上げて使用すると飛散物が顔面に飛んでくる可能性がありますので必ず低くして使用してください。また、草やひもなどの刈刃への巻き付き等で止まった時は、必ずエンジンを停止させ刈刃が止まったのを確認してから、取り除いてください。



○ 刈払作業中の作業者に近づくときは前方から合図をしましょう

- ▶ 他の作業者に近づく時は前方から合図をして、エンジン及び刈刃が完全に止まってからにしてください。(後ろから近づいて肩を叩くなどして知らせると、振り向きざまに脚などを切られるおそれがあります。)

○ 作業を安全・快適に行うために

- ▶ 使用前に取扱説明書をよく読んで、十分に理解してから使用してください。
- ▶ 作業前に、現場に異物・障害物がないかを確認しましょう。
- ▶ 肩掛けバンドを正しく装着し、腰バンドを締め付け、刈払機を肩掛けバンドに装着。両手で左右のグリップを握り、グリップに親指を掛け他の指とともに囲むように握ってください。
- ▶ 体と刈払機が一体となって重心移動を行いリズムある動作で作業すれば、体が楽です。メインパイプを右から左へ振り、常に安定した姿勢を保ち、刃先の左側で雑草を刈ってください。両足は肩幅よりやや広げ、右足を前に出し摺り足で前進します。草が飛び散り、キックバックを起こしやすくなるので、往復刈りや大振りをしないでください。刈り幅1.5m程度、刈刃を左に5~10度傾けて刈ると、草が左側に寄るので作業しやすくなります。
- ▶ 傾斜地での作業は、左側を谷側にして等高線上に足場を確かめながら作業を行い、複数で作業する際は、傾斜の上下位置に並んだ作業は危険です。
- ▶ 周囲の人は作業員から15m以上離れることが望ましい。
- ▶ 刈払機の調子が悪い時は、すぐ作業をやめてください。
- ▶ 燃料補給は必ずエンジンを停止し、エンジンが充分冷えてから行ってください。また、刈払機を長期間使用しない時は、燃料タンク、気化器内部の燃料を抜いてください。



【引用資料：一般社団法人 日本農業機械工業会】